

# ちいさなたね【乳児おたより】

あり組・ひよこ組・りす組

2025年度 2月

聖和乳幼児保育センター

冷たい風が吹くとピタッと足を止めて目を丸くする子どもたちでしたが、寒さを感じながらもくるくる廻を持って歩いたり、走ったり、保育者と追いかけっこをしたりして元気いっぱい体を動かして遊びました。あり組に新しい赤ちゃん人形が遊びに来ました。子どもたちに紹介をした日から、優しい目で見つめてぎゅっと抱きしめたり、「ねんねー」と言ってベッドに寝かしてトントンと優しく体をさすったり、お世話することを楽しんでいます。また、スプーンを口元に持つていき一緒にパクパクと口を動かす等、周りの大人からの温かい関わりを模倣するように人形に接する姿を見て心が温かくなりました。

最近、保育者が肩から掛けているティッシュバッグに興味を持っていたので、子どもサイズの肩掛け鞄を用意しました。「いらっしゃね」と言わんばかりの表情で嬉しそうに見せてくれ、中に積み木やチェーンリングを入れ、「バイバーイ」と言って出かけていく姿が愛らしいです。これからも子どもたちとのやりとりを楽しむ中で、楽しさに共感したり発見を喜んだりしながら楽しく過ごしたいと思います。

2月は、保育室に少しずつ増えてきた鬼に向かって新聞紙で作った豆を撒いたり、鬼のパンツと一緒に踊ったりして節分を楽しむみたいと思います。また、子どもたちの大好きな車を画用紙の上で走らせて絵の具遊びも楽しみたいと思っています。

寒い日が続いているが、子どもたちは毎日戸外でたくさん体を動かして楽しく過ごしています。1月は「たこする！」と言ってビニール廻を持って園庭やグラウンド中をたくさん走って廻が風になびくのを嬉しそうにしていました。また室内では吹きゴマに息を吹きかけて回ると喜んだり、かるたで札が取れると「これあった！」「とれた！」と嬉しそうにしたりと正月ならではの遊びを楽しむことができました。引き続きこまやかるたを子どもたちと楽しんでいきたいと思います。

散歩に行くのが大好きな子どもたちです。大学の森やグラウンドで花やどんぐり、まつぼっくり等の自然物を見つけ、「こっちにおはなあつたよ！」と言ったり、保育者や友だちと追いかけっこをし、「までまでー！」とたくさん走って体を動かしたりして楽しんでいます。「〇〇ちゃん(くん)とおててつなぐ！」と友だちの名前を呼んで、嬉しそうに顔を見合わせて手を繋いで歩く姿が微笑ましいです。これからも友だちと関わる喜びを感じていけるように見守っていきたいと思います。

2月はバスで色を塗った鬼に新聞紙の豆を投げて遊び、節分の雰囲気を楽しむ予定です。また、制作では手袋型（左右）の画用紙に絵の具をつけ、右手袋と左手袋を合わせて開くとできる模様を楽しむ予定です。子どもとともに喜びや発見を楽しみながら過ごしていきたいと思います。

寒さに負けず、戸外では思いきり体を動かして楽しんでいる子どもたちです。正月明けには、バスで思い思いに描いたヘビ廻で廻揚げをして、持つて走ると「くるくるしてる」と嬉しそうな笑顔で楽しんでいました。また、こま回しやかるたなどの正月遊びにも夢中です。初めはこまの回し方が分からず「せんせいがやって」と言っていた子どもも、繰り返しするにつれて回せるようになり、「こうやってやるんだよ」と友だちに優しく伝えてあげる姿を見て、とても嬉しくなりました。かるたでは、乗り物や食べ物のかかるたが大人気で、読み札の冒頭が読まれると、身を乗り出して素早く札を取る子どもたちに毎回驚かされます。

生活面では、自分のコップを使うことを喜び、意欲的にブクブクうがいをしています。また、シーツの付け外しも自分でしようと取り組み、できたことを得意気な顔で保育者に伝えている子どもたちです。ご家庭でも、自分でしようとする姿を見守ってあげてくださいね。

先月の鬼の面制作では、好きな顔のパーツを選び、目と角の柄はバスで表現して個性溢れるお面ができました。丸めた花紙でいっぱいになった鬼の頭も子どもたちのお気に入りのようです。今月は、鬼のお面をつけた子どもたちと新聞の豆まきを楽しむ予定です。また、筆を使って大きな画用紙に絵の具でのびのびと絵を描いて楽しみたいと思います。



『はたらくくるま』の歌が大好きな子どもたちは、歌に合わせて「いーいーあー！（きゅうきゅうしゃ！等）」と一緒に歌ってくれます。また、散歩前には「レツツー？」と保育者の掛け声が聞こえると「ゴー！」と拳を上げて嬉しそうに歩き始めます。子どもたちとのやりとりがどんどん楽しくなってきて笑いの絶えない毎日を過ごしています。

レゴブロックの箱の中から熊の親子を見つけた△ちゃん。「これはママ！」と親熊、「これは△ちゃん！」と子熊を持って、「やったー！ママと会えたー！」と嬉しそうに言っていました。その後、子熊を寝かし、他の小さいレゴを聴診器に見立てて子熊にそっと当て、「ぽんぽんします！」と病院ごっこを楽しんでいました。他にも戸外で「アイス屋さん！」と言って見立て遊びをしたり、言葉で思いを表現したり、やりとりをする姿が増え、子どもたちと楽しい毎日を過ごしています。

お医者さんごっこを楽しんでいる子どもたち。△ちゃんが、「次のお客さん（患者さん）どうぞ」「痛いところ、どこありますか？」とお医者さんになりましたので、保育者が「のどが痛いんです」と伝えると、△ちゃんも「くすり塗っときますね」と手当てをしてくれました。かわいらしいお医者さんがたくさんいます。